

子ども達の学び支援一覧【歴史編】

令和8年度揭示版

厚岸町教育委員会

①国泰寺



国泰寺は1805年に建てられたお寺で、伊達市の有珠善光寺・様似町の等瀨院とあわせて「蝦夷三官寺（えぞさんかんじ）」と呼ばれています。

また、歴代の住職たちが残したお寺の日誌である「日鑑記（にっかんぎ）」があり、これを含めた資料が「蝦夷三官寺国泰寺関係資料」として国の重要文化財に指定されています。

②正行寺本堂



いまの本堂は1910年に新潟県のお寺から移築したもので、当時の文化を知る上でとても貴重なものです。

豪華で気品のあるつくりや建てられたときの古文書も残っていることから、1992年に道東ではじめて重要文化財に指定されています。

令和8年度 掲載用

【歴史編に関するお問い合わせ】

海事記念館

☎ 52-4040

〒088-1151

厚岸郡厚岸町真栄3丁目4番地

【担当】文化財係

③太田屯田の桑並木



蚕（かいこ）からとれる生糸（きいと）は、太田地区でも屯田兵により当時盛んにつくられていました。

この桑並木は屯田兵たちの苦勞と開拓魂を伝える資料として厚岸町の天然記念物に指定されています。

④太田屯田兵屋



太田屯田兵屋は、1890年に本州から太田地区に移住してきた屯田兵440戸が暮らす住宅として、標茶集治監の囚人によって建てられました。

この兵屋は、1971年に復元されたもので、当時と同じ位置に建てられていることから、北海道の有形文化財に指定されています。

⑤厚岸神岩岩跡及び竪穴群



続縄文時代（本州の弥生・古墳時代）からアイヌ文化期（本州の鎌倉時代～江戸時代）の幅広い時期にわたる史跡です。

史跡内には、当時の家の跡とされるくぼみが約430個残されているほか、アイヌ民族の神聖な場所とされるチャシ跡が5か所含まれています。



⑥逆水松（さかさおんこ）



お供山の山頂にある樹齢約400年のイチイ（俗称：オンコ）の木です。

枝がまるで根のように広がり、一見逆さに生えているように見えることからこの名が付けられました。

この木はアイヌ民族の伝承にも残されている貴重なものです。

非常に古く、また珍しい形でもあることから厚岸町の天然記念物に指定されています。